

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会
放送業務委員会（第 1 回）議事要旨

1. 日時

平成 23 年 4 月 22 日(金) 14:00～16:00

2. 場所

総務省 11 階会議室

3. 出席者（敬称略、五十音順）

（主査）

伊東（東京理科大）

（専門委員）

石田（日本テレビ）、岡田（NTT）、川口（テレビ朝日）、工藤（民放連）、高橋（フジテレビ）、滝嶋（KDDI 研究所）、児野（NHK）、豊中（TBS テレビ）、西田（NHK）、平川（東芝）、松井（電波産業会）、三木（三菱電機）、山内（NHK）

（事務局）

総務省情報通信政策局放送技術課

田中課長、沼田技術企画官、古川課長補佐、浦本課長補佐、松浦国際係長

4. 配布資料

資料 放-1-1	放送業務委員会（第 35 回）会合議事概要（案）
資料 放-1-2	2011 年春期 ITU-R SG6 関係ブロック会合の概要
資料 放-1-3	放送業務 WG における検討結果（案）
資料 放-1-4	ITU-R SG6 関係ブロック会合への対処方針（案）
資料 放-1-5	今後の検討スケジュール（案）
参考資料 1	放送業務委員会構成員名簿
参考資料 2	ITU 部会における委員会の設置及び運営について

5. ITU 部会について

参考資料 2「ITU 部会における委員会の設置及び運営について」等に基づき、事務局から ITU 部会に放送業務委員会が設置され、ITU 部会長より放送業務委員会に所属する委員・専門委員の指名及び放送業務委員会の主査に伊東委員の指名がなされた旨の説明があった。

6. 配布資料確認

事務局から配布資料の確認を行った。

7. 放送業務委員会の構成員について

参考資料 1「放送業務委員会構成員名簿」に基づき、事務局から放送業務委員会の構

成員の紹介があった。また、伊東主査より放送業務委員会主査代理に都竹専門委員を、放送業務 WG 主任に西田専門委員をそれぞれ指名がなされた旨の説明があった。

8. 議事

8-1 議事録の確認

資料 放-1-1「放送業務委員会（第 35 回）会合議事概要（案）」については、各自一読後、意見がある場合は別途事務局まで連絡することとなった。

8-2 2011 年春期 ITU-R SG6 関係ブロック会合の概要

資料 放-1-2「2011 年春期 ITU-R SG6 関係ブロック会合の概要」に基づいて、事務局から説明があった。

8-3 放送業務 WG における検討結果（案）

資料 放-1-3「放送業務 WG における検討結果（案）」に基づいて、放送業務 WG 主任の西田専門委員から説明があり、外国寄書審議票（案）及び日本寄与文書（案）が審議され、意見等がある場合は、4 月 26 日（火）18 時までには事務局まで連絡することとなった。主な質疑応答は以下のとおり。

<WP6A>

○地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式に関する勧告 BT.1306 のシステム選択ガイドラインの表に ISDB-T の最新比較実験結果を反映する寄書（A2）を提案する。

→中国方式は、マルチキャリアとシングルキャリアが混在しているが、どのように記載されるのか。

→中国は、これはモードの違いであると主張している。他の地デジ方式にも複数のモードがあるので、中国方式も一つのものとして記述されるものと思料。

→ガイドラインの項目をどのようなものにすべきかなど決まりがあるのか。

→ITU-R 決議により、複数のシステムを勧告する際には選択のガイドラインを示すことを求められており、今回はそれに対応するもの。特段項目の指定はない。

→了。中国方式も内容がどうであれ、いずれ勧告に組み込まれるのだろう。日本方式が不利にならないように現地で対処していただきたい。

○地上デジタルテレビジョン放送のプランニング基準に関する BT.1368 に 8MHz ISDB-T の混信保護比と回線設計値を反映する寄書（A6）を提案する。

→ブラジルと連名で提案することだが、ブラジル側と同意がとれているのか。

→ブラジル主管庁（ANATEL）と合意済み。放送業務委員会でご了承いただければ、連名で寄書を提出したいと考えている。

→（DVB-T が組み込まれた）BT.1368 が勧告化された際に、欧州は DVB-T に関する混信保護比の測定結果を入力したのか。

→当時の資料を調べたが、欧州からそのような寄書が提出された記録は残っていない。

→今回の日本提案が受け入れられるかどうかで、地デジ日本方式の国際展開の命運がかかっている。是非とも日本代表団の皆様には頑張っていただきたい。

<WP6C>

○OCBS（6C/438）と EBU（6C/439）から 3DTV に関する提案がされている。それぞれ、性能要求の勧告を先に作成すべきという提案と、フレーム互換形式の勧告を作成すべきという提案であり、両者に相反する点があることから、留意すべきであると思量。

→3DTV の検討について、国内の技術基準に反しなければ問題がない。

→ご指摘を考慮すると、日本としては静観という対処にならざるをえない。

→韓国では地上 3D 放送の試験放送を開始するとの情報がある。Dpa でも運用規定を検討している。

→ISO でも 3DTV に関する検討が進められていると聞いたことがある。ITU としても何らかの検討が必要であると思料。情報収集すべきである。

<SG6>

○「ICT と気候変動」に関する新 ITU-R 決議を SG6 から RA-12 へ提案することを提案する寄与文書がイタリアから提案されており、注意すべきである寄与文書と思料。

→メーカーが自発的に無線通信デバイスへの対策搭載を検討することならともかく、主管庁が義務化の可能性を検討するというのは言い過ぎではないか。

→この種の提案に対して、表立って反対することは難しいだろう。どのようにバランスがとれた内容になるか、注意すべきである。

8-4 ITU-R SG6 関係ブロック会合への対処方針（案）

資料 放-1-4「ITU-R SG6 関係ブロック会合への対処方針（案）」に基づいて、事務局より説明があり、特段意見なく承認された。

8-5 今後の検討スケジュール（案）

資料 放-1-5「今後の検討スケジュール（案）」に基づいて、事務局より説明があった。主な発言は以下のとおり。

○SG6 関連秋会合の日程が決まったのか。

→SG6 のマネージメント会合で正式に決まる予定。

→秋会合の日程に変更があれば、それに併せて委員会、WG を開催させていただく。

○前回会合では、日本代表団の足並みが揃わなかったことがあったと聞いている。

今回はそのようなことはないように留意いただきたい。

○このたびの震災により、東北 3 県について、地デジの完全デジタル化を延期する予定だが、現地で我が国の放送のデジタル化が遅れているような発言は決してしないようお願いしたい。

9 閉会